

防災通信 33号

発行日	2015年6月12日
発行責任者	大分県防災活動支援センター 理事長 廣瀬 一策
ホームページ	http://opdo.sakura.ne.jp/

平成27年度 総会



去る5月2日、大野川防災センターに於いて、平成27年度の総会が開催されました。

総会では、県防災対策室室長の法華津氏をはじめ、5名の御来賓の方々に参加戴き、平成26年度事業報告、決算報告および平成27年度事業計画、予算が議決されました。

総会終了後の研修会では、「学校防災教育」についての講話、及び「DIG街歩き研修」が実施されました。

・主任研究員の配置

今年度から当センターの活動をより一層高めるため2名の主任研究員を当センターに配置しました。

大分県自主防災組織活性化支援センター

①防災士養成研修

・8月から実施する予定になっています。

②防災士スキルアップ研修

- ・4月19日(日) 佐伯市役所6階にて実施しました。
- ・6月6日(土) 日出町社会福祉センターにて実施しました。

③情報提供

- ・メールリストにて発信していますので適宜ご覧ください。
- ・防災関連の相談業務や活動取材も実施しています。

◎自主事業について

今回、自主事業について、その内容をご紹介します。

(1) 防災アドバイザー講師養成

県内の防災士で自主防災活動経験を有する人を対象に公開セミナーを計画しています。

「パワーポイントの作り方」「情報、資料の収集方法」から「避難所運営」「自主防災活動(自助、共助)」に至るまで合計10講座(開講期間は、9月～3月)開催の予定。

(2) 学校防災教育プログラム研究

県内の学校を対象にした「防災教育プログラム」の策定、および実施を計画しています。

大阪 震災対策技術展



6月4日、5日に開催された第2回「震災対策技術展」大阪において、当センターが昨年度企画開発したプロトタイプ、『避難カート: e~su (イース)』を展示しました。来場者の貴重なご意見、激励の言葉を戴き、今後の課題の一助となりました。

防災アドバイザー業務

大分市大道6丁目防災会、訓練と防災講話

5月10日(日)13:30～大道6丁目公園にて、搬送訓練(リヤカーと簡易担架)、炊出し訓練等の後、清松事務局長による防災講話がありました。中でも、東日本太平洋沖地震の「揺れの映像」は大反響でした。(参加者23名)



6丁目防災会単独では初めての訓練だったとはいえ、参加者が少なかったことを反省しています。事前の周知をもっとしっかりする必要があります。(地元防災士 談)

防災活動は肩の力を抜いて、じっくり、ゆっくり進める事が大切です。(清松事務局長 談)

防災ミニ知識

特別警報について (直ちに命を守る行動を!)

・特別警報の発表基準は、下記のようになっています。

大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量になる恐れがある場合
津波	大津波3m以上
火山噴火	噴火警戒レベル4以上(居住地域)を位置づける
地震	震度6弱以上(緊急地震速報)

・特別警報は、自治体、報道機関を通して行われます。
・テレビ、ラジオ、気象庁ホームページ、防災無線等から発信される情報の収集に努めることが肝要です。